



令和元年度2月号

朝霞市立朝霞第二中学校  
令和2年2月3日発行

# 朝二中だより

〒351-0007 朝霞市岡199  
TEL 048 (461) 6540  
Fax 048 (467) 4742

## 表と裏

校長 杉山 巖

今年は暖かな日が続く3学期で、その影響もあつてか、インフルエンザの報告も例年に比べて少ない状況です。そんな中、1月は各学年とも3学期の大きな行事を実施しました。

1年生は職業体験の一環として「**3DAYS社会体験事業**」を行いました。クラスの枠を越えて事前の準備をし、事業所ごとに「**仕事**」を体験させていただきました。「親でもない、先生でもない大人の人」と「仕事」を通じて接する中で、優しさや厳しさを感じ、学ぶことも多かったと思います。毎年のことですが、ご協力頂いた事業所の方々には感謝しなければなりません。

また3年生は「行事」ではないですが「**私立高校の推薦入試**」がありました。この後、私立高校の一般入試、県公立高校の入試と続きます。受験当日を最高のコンディションで迎えられるよう、**頭(脳)の管理、体調の管理、心の管理**をしていきましょう。

そして2年生は、菅平高原で「**スキー林間学校**」を実施しました。大きなケガもなく無事終了しました。地元のスキースクールにインストラクターを依頼し「スキー講習」を行いました。「雪がないのでは」という心配の中でしたが、積雪量は少ないものの講習は十分可能で、1日目には何十回と転んでいた初心者も、2日目にはリフトに乗り、3日目には初級コースならほとんど転ばずに滑り降りて来られるように上達していました。この達成感を他のことにも繋げていただければと思います。

さて、スキー林間学校の帰りのバスでガイドさんに「天気はいかがでしたか?」と聞かれ、「2日目は霧で前が見えなくて大変でした。」と返事を返していました。1日目、3日目の晴天に比べると滑りにくくて確かに大変でした。でも、**見方を変えてみると**、気温が高いという予報だったので、雨ではなくて**霧で良かった**ともいえます。先生は雨になることを心配していました。雨の中のスキーは、視界も悪いですし、スキーウェアもそれなりに湿ってきます。雪質ももっと悪くなるでしょう。

そこで、昔、聞いた話にこんなものがあるので紹介しておきましょう。

ある朝食の席に出されたトーストのパンがやや黒焦げでした。テーブルについたある者は、これを手にすると**表の黒く焦げた面**を見て、**大変悲観**したそうです。

ところが、別の一人はこのパンを裏返しにしてみて焦げ目がないことを見つけ、「大丈夫、**裏はこんがりきれいなトーストパンだ。**」と**大変喜んだ**ということです。

何事も**片面のみ**を、特に**暗い面のみ**を見て**悲観**することが多々ありますが、**別の面から見る**こと、考えることもできます。そこから**別の見方、価値を見いだす**こともあるはずです。

1年生の職業体験では、事業所が「1日定休日」なのでその分を「学校で体験」といった人もいたでしょう。事業所が2日間で残念でしたが、その分、学校の裏の仕事を知ることができたともいえます。

3年生は、私立高校の推薦入試で不合格の知らせを聞いた人がいるかもしれません。これも残念ですが、でも将来のためには、「今、もっと勉強することが必要なんだ」というシグナルといえるかもしれません。いつも表にとらわれて、悲観しすぎないようにしましょう。裏に返せば、また違った輝き、違った意味があるはずです。それを見いだしてくれることを期待しています。